

# 「カレッジスポーツの未来を描く」

## ■ スポーツ研究所第6回シンポジウム ■



▲ 長澤和輝選手

### 活発に議論

公開シンポジウム「カレッジスポーツの未来を描く」が10月21日、本学のサッカー選手ら約600人が聴衆として参加した。専大スポーツ編集部が主催する「カレッジスポーツの未来を描く」が10月21日、本学のサッカー選手ら約600人が聴衆として参加した。専大スポーツ編集部が主催する「カレッジスポーツの未来を描く」が10月21日、本学のサッカー選手ら約600人が聴衆として参加した。

### 五輪は元気を取り戻す希望

寄稿 専大スポーツ編集部・鈴木 詩織(文3)

6度目の開催となる今回のシンポジウムは、日本体育大学理事長の松浪健四郎氏による「スポーツの文化的価値とその可能性」についての講演。続いて「カレッジスポーツのポテンシャルとスポーツを通じた地域貢献とその未来像」をテーマに、松浪氏、佐藤雅幸氏



▲ 田中理恵氏

2020年夏季五輪・パラリンピックの東京開催が決定し、日本中が歓喜している。2011年3月11日の東日本大震災の被災者への支援や、被災地の復興を促す活動が、国民の絆を強める。そして国民一人ひとりが、7年後を



▲ 右から熱っぽく語る松浪氏と佐藤教授、山田教授

## 学外の2イベントでアニメ企画を発表

富貴忠和ネットワーク

情報学部教授が担当する「アニメーション・コンテンツ企画を立案し、優秀な企画が学外のイベントで発表された。」



▲ 秋葉原でプレゼンする専大生



▲ 大勢が来場したアニメ祭

## 自分の世界が広がった

発表者・小北さん(経営4)

経営学部の小北さんは、アニメ・マンガ文化をテーマにした企画を発表した。発表者は▽中澤大伸(文1)▽吉本和史(経城県行方市、新宿駅など、各地域を舞台とした企画をまとめた。)

企画の概要と、地域に与える影響などを説明。「アニメを利用した地域振興」のアイデアを、来場したアニメ制作会社や地方自治体の担当者らに提案、講評をいただいた。

「アニメ・マンガまつり」に、4つのオリジナルアニメと、既存のアニメを活用したテーマパーク案を堂々とプレゼンした。コメントターからは「実現に向けて頑張れ」「未来のクリエイターを応援します」などの激励の言葉が寄せられた。

日西アニメ監督対談の進行役に米村准教授

10月23日、最新の教育コンテンツでのアイデアや、社会が直面する課題への取り組みを語り合う「制作者会議」IPCE M2(NHK主催)で、米村准教授がスペインと日本のアニメーション映画監督による対談の進行役を務めた。



「しわ」の映像をバックにディスカッション。最終講義のご案内(11月13日現在) 学部学科に関係なく、どなたでも受講できます。卒業生もご参加ください。